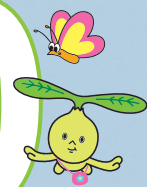


広報 ㊦
No.716
令和5年

いいいたて10



the most beautiful
villages
in japan

飯鐘村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



飯館村社会福祉協議会の齊藤修一会長(深谷)の発声に合わせて、ペットボトルのお茶で「乾杯!」。



県立医大保健科学部の学生が村での学びを報告。



スタッフが舞い踊る「マツケンサンバ」を会場も応援。



トルコギキョウは村からの贈り物。



久しぶりの再会に、笑顔がほころびます。

また来年！を合言葉に

敬老会では、杉岡村長が「ご家族のため、地域のため、そしてふるさとの担い手としてこの飯館村を築き上げてこられた皆様に心より敬意と感謝を申し上げます」とあいさつ。飯館ライオンズクラブからは祝い酒が贈られました。また、感染症対策のため映像での出演となりましたが、希望の里学園の児童生徒は歌声を、こども園の園児は敬老者へのメッセージを会場に届けてくれました。

敬老者代表の佐藤昇さんは、開催への感謝を述べ「力を合わせて前進していこうではありませんか」と出席者に呼び掛けました。また、散会した後、参加者の1人、池田キクノさん(蕨平)は「皆にいっぱい会えてよかったなあ。来年も再来年も来るよ」と充実した笑顔を見せていました。



会場に集い対面で行う敬老会は3年ぶりです。



菅野皆子さん(関根・松塚)に敬老祝い金を授与。



敬老者を代表し謝辞を述べる佐藤昇さん(草野)。

令和5年度飯館村敬老会の招待状は75歳以上の敬老者1,003人(男性384人、女性619人)にお送りしました。当日は約200人の方に出席いただき、再会を喜び合いお祝いをすることができました。

また、欠席の皆様には名簿や記念品を郵送しお祝いを伝えました。

令和5年度 飯館村敬老会

3年ぶりの通常開催!

9月10日、いいたて希望の里学園の第二体育館において、令和5年度飯館村敬老会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したこと、今年度は3年ぶりに、対面での開催が実現しました。開催にあたっては、飯館村社会福祉協議会、飯館村婦人会、飯館村老人クラブ連合会、民生児童委員連絡協議会など多くのご協力をいただき、心を込めて敬老者の皆様をお祝いしました。



初秋の野山を彩るハギの花(伊丹沢)

目次 CONTENTS

- 02 話題「飯館村敬老会」
- 04 特集「きらきらシルバー」
- 10 報告「令和4年度決算報告」
- 16 報告「9月議会定例会」
- 18 空から百景「センター地区」
- 20 学びの広場「全国学力・学習状況調査」ほか
- 22 ほけんとふくし「転倒に気をつけよう」ほか
- 26 いいたて便り
- 28 話題のパレット
- 30 村からおしらせ
- 32 いいたてイノサル通信
- 33 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 34 いいたてDIARY／村民広報委員コラム
- 35 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 36 ほっとNEWS／おしらせ

📷 今月の表紙

社殿を移築した比曾の羽山神社で「比曾の三匹獅子」が奉納されました。この日は「飯館YOITOKO発見!ツアー」の一行が見学に訪れていて、高橋仁久(ひろひさ)さんのお孫さん8人による「子ども獅子」も披露されました。最年少は3歳の昊明(とあ)君(左の写真)。息の合った舞に、観客からは惜しめない拍手が送られました。



村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613までお知らせください。

老人クラブ連合会 パークゴルフ大会

飯館村老人クラブ連合会が、9月16日、いいたてパークゴルフ場で、「第15回飯館村老人クラブ連合会パークゴルフ大会兼第9回福島民報社杯パークゴルフ大会」を開催。男性45人・女性23人の合わせて68人が参加しました。

「しばらくだね」「はい、どうも」。顔を合わせれば、自然と笑顔がこぼれます。気心知れた仲間とのプレーを和気あいあいと楽しみました。



飯館村老人クラブ連合会

各地区の老人クラブの連合会です。老人クラブには65歳以上の方が入会できます。内部組織に若手委員会や女性部、体育部などを置いています。

連合会は、東日本大震災による全村避難の間も、互いの安否を気遣いながら、仮設住宅でのイベントやスポーツ交流などを継続しました。青い旗は、全村避難中の会員同士の団結力を高めるために作成したもので、現在も活用しています。

麦茶じゃなくて、同じ色でも泡が出るのが飲みたくなるねえ…。

ユーモアたっぷりの会話が
あちらこちらから聞こえます。

今日は人間と話せていいなあ、いつもは犬としゃべっているから。

頭のネジ締めて来
るの忘れたわ。

私はネジほろって
来てるから大目に見てね。

パークゴルフに
最高の季節になりますね。元気で100歳目指して頑張りよう！

飯館村老人クラブ連合会 会長
菅野 茂さん(関根・松塚)



飯館村の宝物 きらきらシルバー

社会全体で高齢化が喫緊の課題となっていますが、一方で、元気に頑張っている高齢者の方、ふるさとの担い手として現役で活躍されている方もたくさんいらっしゃいます。

人生経験に裏打ちされた底力に、あっと驚かされることもたくさんありますね！

「広報いいたて」
では、いきいきと活躍されている高齢者の笑顔をこれまでもたくさん掲載してきました。
人生の荒波をいくつも越えて、家族のため、地域のため、村のためにと力を尽くしてきた皆さんです。笑顔の向こうに、そうした歴史とたくさんの方の教えがあると感じます。



飯館村の宝物

個性豊かな飯館のシルバー

飯館村は開拓の村。農業や事業を行いながら、豊かな自然に囲まれて、家族と共に人生を切り拓いてきたのがシルバー世代の皆さんです。全村避難という予想だにできなかった困難も乗り越えてきました。

人生経験が積み重なって、その人らしさ＝個性が輝きます。シルバー世代の皆さんは、互いの個性をよく知る間柄で、親しい人間関係を築いてきました。

飯館村の魅力は人の魅力とも言われます。ふるさとを豊かに育んでくださった皆さん、これからもどうぞ健やかに、飯館のシルバーの魅力をどんどん発揮してください！

高齢者の世帯の訪問を行っている生活支援相談員さんに聞きました。

見守り訪問に行って、私の方がねぎらいの言葉をかけていただき、ありがたい！

2人で海を見に行くのが好きな90歳前後のご夫婦がいます。何十年一緒にいてもデートが楽しいなんてうらやましい！

暑くても、寒くても、週に2回のグラウンドゴルフを欠かさない元気な地区があります。

草が一切ない、きれいな畑にびっくり。いくつになっても仕事がまですごいです。

飯館村社会福祉協議会



飯館村社会福祉協議会では、8人の生活支援相談員が、村内の高齢者世帯を対象に、見守り訪問を行っています。また、サポートセンター「つながっぺ」の運営や、生活支援ワゴンの運行、地域サロンの支援、百歳体操の普及活動など、地域福祉・高齢者福祉に関わるさまざまな事業を行っています。

「高齢者の皆様のお困りごとに応じて、関係機関につなぐこともできます。どうか“迷惑をかけるから”などと遠慮をせずに、まずは気軽にご相談ください」。

これからも 支え合う暮らしを

問 飯館村社会福祉協議会 ☎0244-42-1021

ユーモアたっぷり

までいな手仕事

地域おこしの達人

コミュニティづくり

農業のプロ

多彩な趣味人

昔とった杵柄で、野菜づくりの得意な人が多いですね。村外に住んで環境が変わっても、庭の隅っこやプランターでまでいにつくっている人がたくさんいます。

ふるさとのため仲間とともに力を尽くして



こども園での世代間交流(平成31年)

助け合って村づくりをしてきた皆さんは「お互い様」を大事にしています。避難の間も、戻ってからも、離れていても、仲間を大切に、子どもを大切に、笑顔で手を差し伸べます。



避難当時、仮設住宅でのポッチャ大会(平成25年)



村のイベントのポスター撮影に協力(令和5年)

何でも自分でつくって直して、までいな働き者。高齢の女性でも草刈機を使いこなすパワフルさも備えています。なんとと言っても、器用でマメな方が多いです。



サポートセンターつながっぺにて(令和4年)

8人兄弟の長女で小学1年生から田んぼの手伝いをしていました。

活躍するシルバーの
お一人、庄司さん
にお話を聞きました。

★スーパーシルバー!★

庄司 喜久江さん(関根・松塚)

ご主人を見送り、現在は一人暮らしの庄司さん。県内に住む息子さんと娘さんが足しげく様子を見に来てくれます。「草野から嫁いだのですが、義母が早くに亡くなり、おばあさんやおじいさんのお世話を頑張りました。体は小さいけれどおんぶもできたのよ」と振り返ります。「おばあさんには、苦労した人でないと分からない、いろいろなことを教えてもらいました」。心を通わせ暮らした家族との思い出を大切にしています。

畑仕事や草刈り、愛猫の世話をするのが日課です。手料理を持って友人を訪ねるのが楽しみだそう。

現在86歳の庄司さん。カゴを編むのが得意で、作品は、いたて村の道の駅までい館で販売されています。娘さんが暮らす新潟県の直売所からも注文が入るそうです。





北山 伸二さん・ヨシさん(飯樋町)

こんなに暑い梁川に住むなんて思わなかったな。今でも庭や家の近くに畑を作って、ナスやピーマン、トマトを育てているよ。自分らが食べる、趣味程度だけどね。喧嘩もしてきたけど、あつという間の50年だったね。今があるのは、子ども4人の存在が1番大きかったかなと思うよ。



荒 利喜さん・みついさん(飯樋町)

家族にもお祝いしてもらったんだ。消防団で活動していた間は特に、妻には苦勞をかけたし我慢してもらったと思う。「最大のピンチを最大のチャンスに」って酒づくりとかイベントをやったなあ。喧嘩もあっていいんだ。これからも身体に気を付けながら過ごしていきたいね。



佐藤 信男さん・芳恵さん(前田)

孫が8人いて、この前みんなでお祝いに来てくれて写真を撮ったよ。知り合いの紹介で出会って、お見合い結婚だったね。昔は農業をよくやったなあ。夫もこれまで頑張り過ぎたのか、病気しちゃったけど、自らやりたいと動いてくれる世代が現れてくれたら嬉しいね。



庄司 二郎さん・ハマ子さん(伊丹沢)

4人の子どもと4人の孫の世話をしていたらあつという間に50年経ってしまったね。結婚式の写真も飾ってあるの。昔は働きに出ながら農業もやって、祖母の世話もしていた時は大変だったなあ。その時からいいたてホームはどこ施設よりもきれいでびっくりしたことを覚えているな。



菊地 廣行さん・利江さん(蕨平)

今も毎日2人で村に通って、インゲンを中心に野菜を育てているよ。1日行かないだけで大変なんだ。ただ家にいるのはつまらなくて、何かしていないと落ち着かない。身体を動かすのはいいね。野菜づくりも楽しいからね。村の補助金を活用させてもらっていて、本当に助かっているよ。



佐藤 正徳さん・豊子さん(深谷)

昔は大工をやっていて、飯館中学校の建設工事とか村民のお宅の新築工事とか、随分と携わったなあ。喧嘩をしたことも、妻に逆らったことも一度もないよ。文句を言われても知らん顔していたからね(笑) 今の家に住むのも妻が決めたし、決定権は妻にあるんだ(笑)



佐藤 忠義さん・勝子さん(前田)

(褒状を受け取り)いつもありがとうね。もともと家が近所で幼馴染みたいなんだった。ご縁があったんだと思うよ。運命だな! 妻にはたくさん苦勞をかけた。これからも仲良くしますから、これまでの苦勞は水に流してください(笑) 希望をもって、健康に暮らしたいね。



高橋 日出夫さん・民さん(関根・松塚)

気付いたら50年経っていたね。避難先でハウスを使っていいよと言われて花弁栽培を続けたことが、今につながっていると思うんだ。実は花を始めたのは妻がきっかけ。あの頃を思えばまだまだ大丈夫! 農業の楽しさはいっぱいあるからね。好きでやっているから苦にならないんだ。



佐藤 隆男さん・たつよさん(飯樋町)

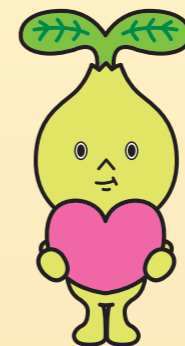
結婚当初から牛中心の生活で毎日忙しくて、夢中でやってきたな。お見合い結婚で出会って子どもは4人、孫は12人いる。集まると賑やかだよ。仕事も家庭も、乗り越えるためには我慢が大切。春からは朝の味噌汁とおかずを分担して作るようにしたんだ。妻に言われてね(笑)



飯館村の宝物 きらきら金婚夫婦

大切な家族の存在、そしてなにより、互いには見せない、内に秘めたる大きな愛情。記憶に色濃く残る二つひとつのエピソードを、あの頃を懐かしむように、優しい笑顔で話してくれました。ご夫婦の会話の様子をそのままに、お祝いの気持ちを込めて、華やかにお伝えします。

※掲載は順不同です。



9月下旬、めでたく金婚を迎えられた10組のご夫婦を訪れ、村から褒状と金婚祝い品を贈呈しました。結婚50年の節目を迎えたご夫婦の間には、あふれんばかりの笑顔と思い出がありました。出会いのきっかけから結婚式の思い出、震災・避難生活を乗り越えた時期、



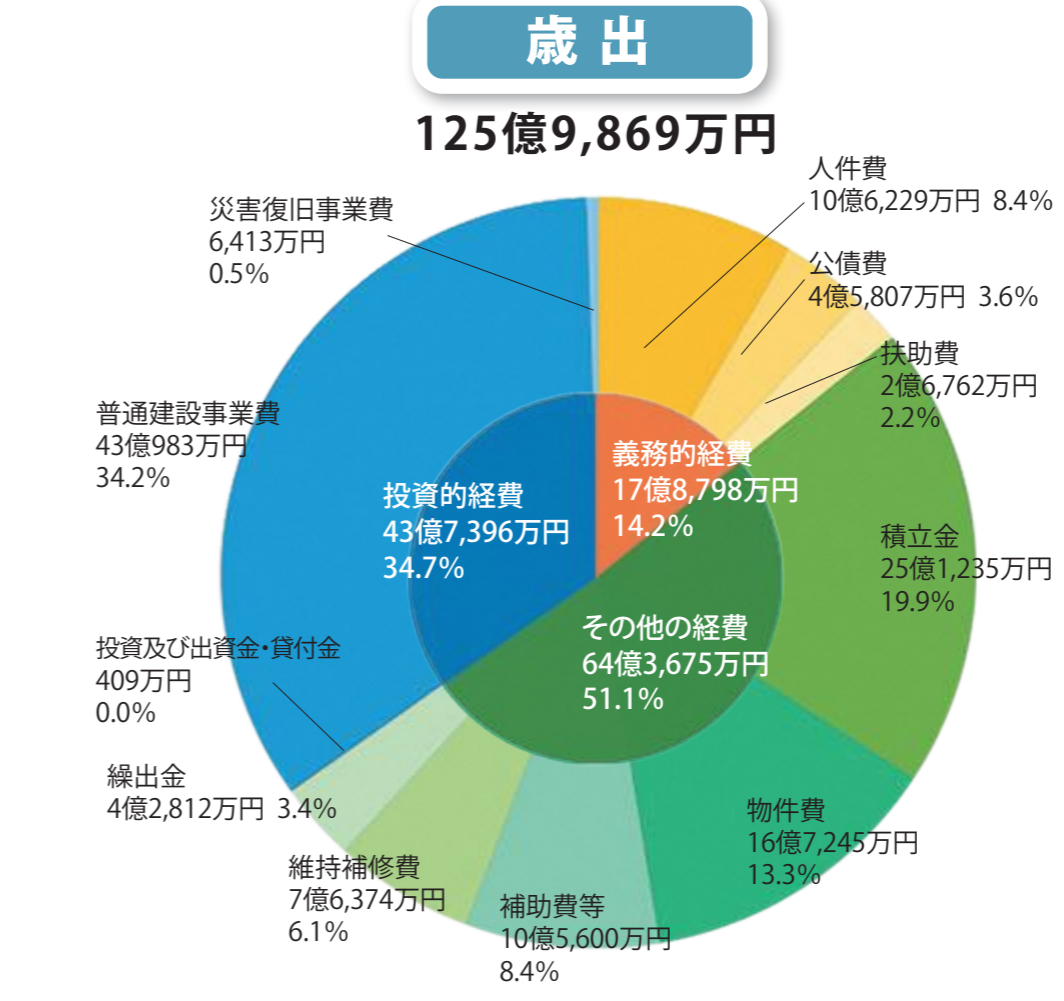
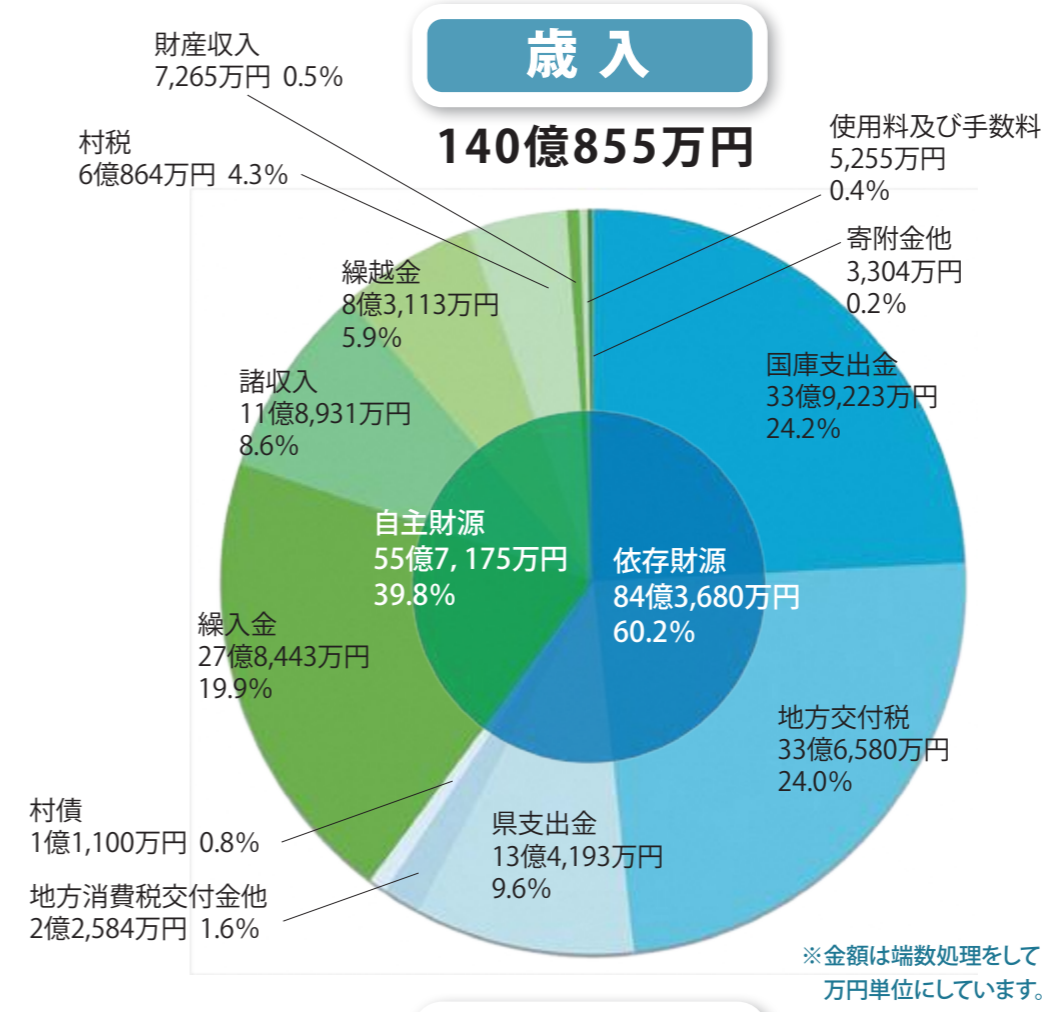
菅野 今朝男さん・和子さん(関根・松塚)

農協の2階で結婚式を挙げたなあ。毎日何時間も台所に立つ妻の料理は手が込んでいて、昔からずっと美味しいんだ。外食したいとも思わないくらい。育てている葉わさびも、妻の協力なしでは作れないね。今は庭でバラも育てているよ。見たい人に見てもらえればそれでいいんだ。



令和4年度 飯館村 決算報告

飯館村における令和4年度各会計決算がまとまり、9月定例議会で承認されました。一般会計における歳入決算額は140億855万円(前年度比16.0%減)、歳出決算額は125億9869万円(同20.2%減)であり、いずれも過去5番目に大きい規模となりました。また、歳出決算額のうち82億2484万円(全体比65.3%)が復旧・復興事業に要した費用となりました。また、歳出決算額のうち昨年度の一般会計・特別会計の概要や村政の動き等についてお知らせします。



令和4年度に
村民1人あたりに使われたお金
(10円未満四捨五入)
264万4,020円
※一般会計目的別歳出決算額
125億9,869万円
人口4,765人(令和5年4月30日現在)

農林水産業費
農業復興のために

1人あたり
91万2,850円

総務費
村全般企画・管理に

1人あたり
89万3,220円

土木費
道路や橋の整備に

1人あたり
21万640円

民生費
福祉増進のために

1人あたり
19万6,210円

衛生費
清掃・予防衛生に

1人あたり
10万1,410円

商工費
企業支援・観光などに

1人あたり
4万8,330円

教育費
学校教育の充実に

1人あたり
11万520円

公債費
借入金の返済に

1人あたり
9万6,130円

災害復旧費
災害復旧に

1人あたり
1万2,770円

消防費
消防・防災に

1人あたり
3万8,840円

※その他(議会費・労働費・諸支出金)…1人あたり2万3,100円

村各特別会計の決算状況 ※()内は前年度比

●国民健康保険特別会計
歳入 11億1,222万円 (2.7%減)
歳出 10億 267万円 (0.1%減)

●介護保険特別会計
●事業勘定
歳入 10億1,729万円 (0.8%減)
歳出 9億8,092万円 (1.3%減)
●介護サービス事業勘定
歳入 544万円 (4.4%増)
歳出 544万円 (4.4%増)

●簡易水道事業特別会計
歳入 1億6,951万円 (8.9%増)
歳出 1億6,921万円 (8.9%増)

●後期高齢者医療特別会計
歳入 3,325万円 (4.7%増)
歳出 3,325万円 (4.7%増)

●農業集落排水事業特別会計
歳入 1億2,199万円 (26.4%減)
歳出 1億2,167万円 (24.8%増)

村役場職員の給与などをお知らせします

村の行政運営における公正性と透明性を高めるため、「地方公務員法」及び「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数等の人事に関する運営状況についてお知らせします。

●職員数の状況

(各年4月1日時点)

		職員数			
		令和4年	令和5年		
普通会計部門	一般行政部門	議会	2	2	
		総務	19	18	△1
		税務	5	5	
		民生	7	8	1
		衛生	4	4	
		労働	0	0	
		農林水産	9	9	
		商工	2	3	1
		土木	6	6	
	計	54	55		
	教育部門	10	8	△2	
	小計	64	63	△1	
公営企業等会計部門	その他	8	8		
	小計	8	8		
合計		72	71	△1	

●職員の平均年齢、平均給料月額

(令和5年4月1日時点:一般行政職)

平均年齢	平均給料月額
41.6歳	32万3,700円

●職員の初任給の状況

(令和5年4月1日時点)

一般行政職	大学卒	19万6,100円
	高校卒	16万2,400円

●人件費の状況

(普通会計令和4年度決算)

住民基本台帳人口 (令和5年1月1日)	4,822人
歳出額	125億9,868万7千円
実質収支	10億989万8千円
人件費	10億6,229万2千円
人件費率	8.4%

※人件費率=人件費÷歳出額

●特別職の報酬などの状況

(令和5年4月1日時点)

給料 (月額)	村長	80万5,000円
	副村長	65万円
	教育長	62万円
報酬 (月額)	議長	30万円
	副議長	25万1,000円
	議員	23万5,000円
期末 手当	村長	(令和5年度支給割合) 6月期 1.625月分 12月期 1.625月分 計 3.25月分
	副村長	
	議長	
	副議長	
	議員	



※職員数は、一般職(会計年度任用職員等を除く)に属する定員管理上の職員数です。

※詳細については、10月下旬、村ホームページに掲載しますのでご覧ください。

新しい村に向かって ～令和4年度に実施した主な施策～

令和4年度一般会計決算額の中で、復旧・復興事業に要した歳出総額は82億2,484万円で歳出全体の約65%を占めました。令和4年度に村が行った主な施策について紹介します。

帰還困難区域復興整備事業(長泥地区) 9億7,881万円



ふくしま森林再生事業 4億8,297万円



木質バイオマス施設等緊急整備事業 6億8,210万円



宿泊体験館きこり宿泊棟改修事業 2億4,432万円



飯舘村の財政状況指数

令和4年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による村の財政状況を公表します。令和4年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にありますが、引き続き、適正な財政運営に努めます。

健全化判断比率	早期健全化基準 ※基準を下回るほど健全	飯舘村の財政状況
一般会計での赤字の程度(実質赤字比率)	15%	0%(算定なし)
全会計での赤字の程度(連結実質赤字比率)	20%	0%(算定なし)
財源の中で借金返済額の占める割合 (実質公債費比率)	25%	6.6%
全会計を対象に、一般会計等が将来負担する借金の 財政規模に対する割合(将来負担比率)	350%	0%(算定なし)

一般寄附について

令和4年度の一般寄附 334万円

「一般寄附金」は、飯館村の各種振興策に活用しています。



基金について

までの村 陽はまた昇る基金

令和4年度の寄附金額 116万円
令和4年度末の残高 5億7,130万円

個人からの寄附金、企業・団体からの寄附金などを積み立てている基金です。東日本大震災による原発事故災害からの復興に向けて、村民の生活再建のための営農再開・農林業活性化事業、企業・商店再開および操業支援事業、移住支援事業などに活用しています。



いいたてっ子未来基金

令和4年度の寄附金額 248万円
令和4年度末の残高 2億7,436万円

平成19年に設立された基金です。教育・保育の充実、子ども達の心身を育む事業に充てられる基金で、教育環境の整備や交流事業などに広く活用しています。



語学研修事業「希望の里WAKUWAKU E ツアー(令和4年)

北風と太陽基金

令和4年度の寄附金額 973万円
令和4年度末の残高 4億555万円

太陽光発電・風力発電施設の配当金を積み立てています。拠点の整備・運営に活用しています。



飯館村に心を寄せてくださる村外の皆様、本当にありがとうございます。応援への感謝を忘れることなく力を合わせて「明日が待ち遠しくなるような、ワクワクする楽しいふるさと」の実現を目指します。

飯館村は
たくさんの応援に
支えられています

平成23年の東日本大震災の直後から、村への義援金・寄附、村の子ども達への寄附(いいたてっ子未来基金寄附)が、全国さらには海外から寄せられました。他にもさまざまな物資をお送りいただいたり、避難先を訪問いただいたり、長期にわたって多くの方にお世話になりました。近年は「ふるさと納税」による応援もたくさんいただきました。東日本大震災義援金については、令和4年3月31日をもって受け付けを終了させていただきました。寄附はそれぞれ基金に積み立てるなどして、大切に活用させていただきます。

ふるさと納税(返礼品あり)の報告

飯館村の返礼品を選んで納税していただいた
令和4年度のふるさと納税 964万円

飯館村への応援、ありがとうございます。

返礼品のある「ふるさと納税」は専用のウェブサイトから

「ふるさと納税」のウェブサイト『ふるぽ』または『ふるさとチョイス』からの納税については、返礼品の制度をご利用いただけます。

村産の返礼品は現在19品

感謝を込めて村からお送りする村産の返礼品は、現在19品から選んでいただけます。震災や避難の影響で提供できていない商品については他の産地のものをご用意しています。

ふるぽ



ふるさとチョイス



感謝を伝えよう! 返礼品を募集しています



モノからはじまる「結い荏胡麻セット」

村は、返礼品への出品を募集しています。出品を希望される事業者の方は村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1622までお問い合わせください。出品については、総務省が定めた条件に適合しているかの確認、インターネット取り引きの手続き等に2か月程度かかります。

令和5年から企業版ふるさと納税も受け付けています

令和5年3月から募集を開始 企業版ふるさと納税について(地方創生応援税制)

村は令和5年3月から「飯館村地域再生計画」に基づき企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)も募集しています。「企業版ふるさと納税」は、寄附型と人材派遣型の2つの形式で募集しています。

詳細は
村HPから



令和5年 第6回飯館村議会定例会



令和5年9月議会定例会は、9月1日から15日までの日程で開かれました。一般質問は5日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は15日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。

今議会で可決された議案など

令和5年度
一般会計補正予算

令和5年度介護保険
特別会計補正予算

令和5年度後期高齢者医療
特別会計補正予算

令和4年度飯館村一般会計
及び各特別会計歳入歳出
決算認定について

飯館村税特別措置条例の
一部を改正する条例

農業基盤整備促進事業(飯館
西部その2)農業基盤整備工事
(水路工)前田・八和木地区第
9回工事の工事請負契約につ
いて

紙面の都合上一部省略しています

村長村政報告

産業団地の整備について

少子高齢化が急速に進んでいる村の状況に鑑み、医療・介護を含む村民生活を支えるための「自主財源の確保」、子育て世代・働く世代を中心とする「なりわい人口の増加」は最重要課題であり、「なりわい創出」は喫緊かつ必須の施策です。

この「なりわい創出」に必要な不可欠である産業創出や企業誘致を推進するにあたり、令和4年度の調査結果に基づき、相馬農業高等学校飯館校及びその周辺地区を産業団地整備の最適地と考え、これまで地元住民の皆様をはじめ、県教育庁との協議や、同校の同窓会、関係各所との事前協議を進めてきました。

この結果、地元の皆様、同窓会及び関係各所から一定のご理解をいただき、去る8月28日に「相馬農業高等学校飯館校の活用にかかる要望書」を、県教育委員会教育長に提出しました。

村の発展と振興の歴史に大き

く寄与してきた高等学校の歴史をしっかりと本校に引き継ぎ、新たな村の発展のために敷地等を活用する構想について、今後とも権者・地元行政区の皆様をはじめ関係各所と丁寧な協議を進め、あわせて村民の皆様のご意見を踏まえて、スピード感をもって取り組んでいきます。

■ いたて村の道の駅までい館
平成29年8月12日のオープンから本年7月末までのレジ客数は、まてい館が67万6349人、セブンイレブンが153万45人です。

■ 風の子広場・ドッグラン
ふかや風の子広場の利用者は、本年4月から7月末までで1969人です。

「ドッグランわんこの庭のびのび」の利用は、本年4月から7月末までに195件、254頭です。どちらの施設も大変好評をいただいております、村内外から多くの来場者を楽しんでいただいております。

■ 宿泊体験館きこり
本年4月から7月末までの全体利用客数は2919人で、こ

のうち素泊まり宿泊の利用者は244人、入浴施設の利用者は2675人です。

■ あいの沢キャンプ場

令和4年度にモニター利用を開始したオートキャンプ場に加え、今年度はイベント広場にフリーサイトもオープンしました。ファミリーキャンプ、グループキャンプ、ソロキャンプなど様々なスタイルに対応できるようになり、本年7月末までの利用者は1143人です。

■ 村税課税状況

8月1日現在の課税状況は村民税1875件、固定資産税2137件、軽自動車税3552台、国民健康保険税68件、介護保険料63件です。

■ 村民の帰還状況

8月1日現在の村への帰還者は636世帯、1222人で帰還率は約25.8%です。これに、震災後の転入者248人といいたてホームの入所者等を合わせ、村内の居住者は809世帯で1529人です。

避難を継続している方は、県外に157人、福島市に2016人、南相馬市に283人、伊達市に250人、川俣町に235人など、合わせて3056人です。

■ 産業廃棄物中間処理施設整備計画構想

8月4日に関沢行政区長、小宮行政区長、八木沢・音原行政区長が立会人となり、斎藤運輸工業株式会社と「産業廃棄物中間処理施設立地協定書」を締結しました。今後は、この協定書をもとに地域活性化を含めた協議を図っていきます。

■ 新型コロナウイルス接種

今年度の春開始接種は、高齢者基礎疾患のある方、医療・介護等の従事者等が対象で、5月から7月にかけて計5回、村内「いちばん館」で集団接種を実施し、1083人の接種が完了しています。

■ 有害鳥獣減容化施設

8月から本格運用を開始しており、これまで、捕獲した鳥獣9頭を処理しました。1週間程度で大きく分解が進むことが確認で

き、期待した効果が出るものと見込んでいます。引き続き有害鳥獣捕獲実施隊と連携、協力のもと、適正な処理に努めていきます。

■ 木質バイオマス施設等緊急整備事業

7月25日に、県や福島市、南相馬市など被災12市町村を含む近隣市町村の担当者等を招き、交流センター「ふれ愛館」及び蔵平地区の建設予定地にて、事業の説明会及び現場見学会を実施しました。参加者からは様々な質問が出されましたが、特に事業実施を懸念するような声はなかったものと捉えています。また当日は県、関係市町村等で組織する、木質バイオマス発電施設の情報共有等を目的とした協議会を立ち上げた旨の説明も行い、主旨をご理解のうえ、協議会に参加していただけるよう呼び掛けました。

現在、施設は年度内の完成に向け順調に工事が進んでいます。

■ 建設関係

行政区で実施する住民参加型環境保全事業による村道の草刈

りは、15行政区において1回目の草刈りが完了し、今後2回目の草刈りを実施する予定です。その他の路線は、村内業者への委託により草刈りを進めています。また国道は、県による道路愛護交付金により地元で対応可能な15行政区約109.2kmを実施しています。

村道舗装機能回復工事は、現在10路線、約2.6kmの工事を発注しており、12月末の工事完了を見込んでいます。合わせて村管理の普通河川、17河川においても除草作業を進めており、10月末に完了する予定です。

■ 教育委員会関係

まてい館の里のこども園では、今年度から導入した保育管理システムにより保護者との密な連絡体制が確立され、安心・安全な保育が実施されています。いたて希望の里学園ではタブレットの活用が進んでおり、コロナ過で試行錯誤し構築されてきたオンライン授業や双方向の授業を取り入れながら、様々な授業での活用形態が広がってきています。

村役場(写真右端)のあるこのエリアは「センター地区」と呼ばれています。昭和31年9月30日に飯曾村と大館村が合併して誕生した飯館村では、当時、飯館村役場の設置場所について協議を重ねられ、その結果、新しい村の中心部を開発して新庁舎を設置することになりました。「センター地区」にはその後もさまざまな施設が整備され、現在の形になっています。今月から新たに「いいたてクリニック」(写真中央)の建物内に「地域活動支援センター」が開所しました。

空から 百景

センター地区



村内事業所で2日間の職場体験 学園8年生がさまざまな職業に挑戦しました

8月24日・25日の2日間、いたて希望の里学園の8年生による『職場体験』が村内事業所で実施されました。

右の写真の他、桜の名所「飯館復興の桜」で會田征男さん(伊丹沢)から桜の管理を教わった生徒や、いたてスポーツ公園でイベントのポスター制作を体験した生徒もいます。それぞれの職場で真剣に仕事に取り組み、働く喜びや苦勞、やりがいなどを実感していました。



①肉のゆーとぴあ②コーヒー屋の食堂③工房マートルなどでさまざまな仕事に向き合いました。

全力を尽くし健闘を讃え合う 川俣町・飯館村 陸上交歓会

9月20日、『第5回川俣町・飯館村小学生陸上交歓会』が、いたてスポーツ公園陸上競技場で開催されました。川俣小学校といたて希望の里学園の5・6年生が参加して、短距離走・中距離走・走り幅跳びなどの競技に力いっぱい取り組みました。この大会は、練習の成果を発揮して他校と競い合い、その中で自己記録の更新にも挑める貴重な機会となっています。自校の応援はもとより、互いの健闘を讃え合う児童の姿も印象的でした。



最後の種目は男女混合チームの4×100mリレー。仲間や保護者の声援を受け、力走する第1走者。

北海道での学びを自分達の言葉で 『学びの旅』の報告会を開催

9月24日、交流センター「ふれ愛館」で、『いきいきわくわく学びの旅』の報告会が行われました。学びの旅は、この夏8月7日から10日にかけて実施され、いたて希望の里学園の5・6年生の希望者14人が参加。北海道からふるさとを見つめ、体験を通して北海道の自然や歴史などを学びました。菅野義樹さん(比叡)の営む「菅野牧園」で学んだ震災と畜産のこと、同世代との交流、農業学習施設で触れた最先端の農業などについて、実感を含めて報告しました。



7つのテーマで班ごとに発表。スライドを使って、旅で学んだこと、感じたことをいきいきと伝えました。

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

令和5年4月に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査の目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の教育活動に役立てていくことです。毎年実施している2教科(国語と算数・数学)の試験及び質問紙調査(学習・生活状況に関する質問)に加え、今年度は中学校では英語の試験も実施しました。飯館村教育委員会では、調査結果から子どもたちの良さや課題を把握し、継続的な検証改善サイクルを確立しながら確かな学力を育むことをめざしています。

福島県の傾向

- 小・中学校国語がおおむね全国平均となっている。一方で小学校算数と中学校数学及び英語は全国平均を下回っている。
- 質問紙調査から「主体的な学び」「対話的な学び」の視点による活動は全国平均を上回っている。
- 全国平均に比べてICT機器を効果的に活用した協働的な学びの推進に課題がある。

飯館村の結果から

- 教科ごとの正答率は村の結果も概ね福島県の傾向と同様である。
- 授業におけるICT機器の活用頻度は、全国や県平均に比べて極めて高い。

1 各教科について

学年		良くできているところ	課題となっているところ
6年生	国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を文の中で正しく使う。 目的や意図に応じて自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように工夫する。 情報同士を関連付けながら説明する。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 分配法則を用いた加法と乗法。 除算の筆算の仕組みを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の意味や性質を理解する。 問題文を読んで場面と関連付けながら式をつくる。

学年		良くできているところ	課題となっているところ
9年生(中学3年生)	国語	<ul style="list-style-type: none"> 文と文との関係について理解して読む。 文章から要旨を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 観点を明確にして文章を比較する。 文章の内容と自分の知識や経験とを結びつけながら考えをまとめる。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> グラフなどの事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を考える。 図形の特徴から証明を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて式を変形する。 表やグラフから必要な情報を適切に読み取る。
	英語	<ul style="list-style-type: none"> 事実と考えを区別して読む。 英文の要点を捉えて短文を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を正確に聞き取る。 まとまりのある文章を書く。

2 各教科の結果と質問紙調査との関連を分析して、正答率の高い傾向にある児童生徒

生活に関わること	学習に関わること
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 朝食を毎日食べている。 ◎ 家に本がたくさんあり、読書が好きである。 ◎ 友人関係に満足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。 ◎ 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。 ◎ 家で自分で計画を立てて勉強している。

学力向上に向けた今後の取り組み

学校では

- 教師の児童生徒一人ひとりに対する指導が、各教科を好きになったり大事だと思ったりする気持ちにつながっています。今後も継続します。
- ICT機器を積極的に活用し、協働的な学びや思考力・判断力・表現力の向上に役立っています。引き続き活用する一方で、書く活動とのバランスも考慮していきます。
- 知識や技能を身につけるために、繰り返しの学習など基礎基本の定着を目指した指導を行います。



ご家庭では

- 毎日の生活リズム(起床、就寝、食事の時間)を守らせましょう。
- ゲームやスマートフォンの使い方を親子で決めましょう。読書の習慣をつけさせましょう。
- 家庭学習を習慣化させるために、下校後の計画を立てさせましょう。

転倒に気をつけよう

10月10日は転倒の日。転倒予防のチェックをしましょう。

最近、歩く時につまづいたり、転んでしまったことはありませんか？
いつまでも自分の足で歩けるよう、転倒を予防しましょう。

特に高齢の方は骨がもろくなっているので、転倒により骨折してしまう恐れがあります。骨折により歩けなくなってしまうと、身体的にも精神的にもダメージを受け活力を失ってしまいます。転倒をきっかけに寝たきりになってしまうこともあるため、転びにくい環境づくり・身体づくりが大切となります。



日頃から転びにくい身体づくりに努めて転倒を予防しましょう！

環境の改善

- 床に物を置かない
- じゅうたんの縁はめくれないようにとめる
- 手すりをつける
- 照明を明るくする

日頃から運動を行う

- 椅子に座った状態でつま先の上げ下げ、かかとの上げ下げ
- 椅子に座った状態から膝を伸ばしてキープ
- 支えにつかまって片足立ち

他にもさまざまな場面で気をつけたいポイントがあります。



階段

- 滑りやすいスリッパは使わない
- 手すりや照明も転倒予防に
- 上り下りは一段一段慎重に

浴室

- 石けんなどの使用後は滑ります
- 浴槽の出入りがしやすいように
- 出入口の段差に注意

台所

- つまづきやすいマットは使わない
- よく使う物は手の届きやすい場所に
- 手すりをつける

店舗

- 濡れた床で滑らないよう注意
- 買い物中も足元や周囲に気をつける
- 駐車場の車止めや側溝にも注意

毎日の食事の栄養バランスを見直そう

いつものお食事、どんなものを食べていますか？
高齢の方こそ、バランスの良いお食事が大切です。

高齢になると、歩く能力の低下といった身体面だけではなく、かむ力や飲み込む力も低下してしまいます。歯が抜けるなど口のトラブルがあるとさらにかみにくくなります。食事の内容では、ごはんと漬物だけ、パンだけといった簡単なもので済ませる方も見られます。食べる力の衰えや食べる物の偏りがあると栄養バランスが崩れやすくなります。野菜やお肉など繊維質のかみにくい食材を避けると、タンパク質、ビタミン、ミネラル、食物繊維といった栄養素が不足しがちです。1日3回の食事を基本に、毎食バランス良く食べることが大切となります。

工夫の仕方

- お肉やお魚は一口サイズに切る、ひき肉やすり身にする
- 野菜は柔らかく調理する、細かく切る
- 豆類は柔らかくしてつぶす
- 飲み込みにくい時はとろみをつける
- 簡単に食べられる缶詰やレトルト食品も活用する
- 食べられる量が少ない時は間食で補う



問 飯館村地域包括支援センター ☎0244-42-1626

『栄養』はフレイル(加齢による虚弱)の予防にも重要です。

本田先生に聞く

第8回

こころとからだといのちの詩

呼吸器感染症がはやる冬に備えよう

いいたてクリニック 本田 徹 先生



この夏は飯館村でも、かなりの数の方の新型コロナウイルス感染症が、クリニックでも、往診の患者さまにも認められ、5類移行後、状況が必ずしも改善していないことに、危機感をもっています。第9波は起きていたと言わざるを得ませんが、これまでのように全数報告の形にならない分、かえって感染の深刻さや実態が見えづらくなっています。ただ、多くの方々がこれまでのワクチン接種により、基礎免疫をお持ちなので、重症化は避けられているようです。

この冬に向けて欧米諸国では、従来株以上に新型コロナウイルスの変異度が高い、BA.2.86株の流行が見られ、日本にも波及しないか懸念されています。もう一つ心配すべき点は、RSウイルス(呼吸器合胞体ウイルス)が、冬期間を中心に、乳幼児や高齢者に流行することです。朗報としては、60歳以上の高齢者を対象とする、新しいRSウイルスワクチンが日本でも承認され、実際に導入されれば、重症の肺炎や、この感染症が引き金の一つになる小児喘息などが減っていくことも、長期的には期待されます。

小児のインフルエンザワクチンについては、高齢者同様に、接種費用の助成の対象になっていますので、寒さが本格化する前に受けていただきたいと思えます。

■ インフルエンザ予防接種料金助成について

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

村では下記の対象者にインフルエンザ予防接種の助成を行います。助成期間は10月1日から令和6年1月31日までとなります。

小児

- ① 生後6か月以上13歳未満の方(2回)
- ② 13歳以上中学3年生までの方(1回)

中学生以下のお子さまが予防接種を受ける際には、医療機関備え付けの予診票をご使用ください。実施医療機関については、飯館村ホームページの『小児インフルエンザ予防接種実施医療機関一覧』をご確認ください。一覧以外の医療機関で接種する場合には、健康福祉課までご連絡ください。

- 自己負担はありません。
- 接種を希望する医療機関に事前にご予約ください。

高齢者

- ① 65歳以上の方(1回)
- ② 60歳以上65歳未満の方のうち、心臓、じん臓及び呼吸器障がいのある方及びヒト免疫不全ウイルスによる免疫障がいのある方※内臓疾患の身体障がい者1級程度の方(1回)

高齢者の方が接種を受ける際には、村が準備する予診票が必要です。医療機関に予約する際に、飯館村の予診票があるかご確認ください。医療機関に村の予診票がない場合には、お手数ですが、飯館村活性化センター「いちばん館」までお越しください。来庁が難しい方には郵送でお送りしますので、健康福祉課までご連絡ください。

- 自己負担はありません。
 - 接種を希望する医療機関に必ず事前にご予約ください。
- ※県立医大附属病院や県外医療機関で接種する場合、助成上限額(5,200円)を超えた場合は自己負担となります。

参加者
募集中!

令和5年度後期の参加者を募集します 『いたいのいたいの飛んでけ!運動塾』

令和5年11月2日から令和6年2月8日までの12回コースです。

- 対象者**
- 65歳未満で健診結果が肥満(BMI 25以上)の方。
※65歳以上で参加を希望する方は電話にてご相談ください。
 - かかりつけ医から運動を禁止されていない方。

- 日時**
- 11月 2日(木) 9日(木) 16日(木) 30日(木)
12月 7日(木) 14日(木) 21日(木)
1月 11日(木) 18日(木) 25日(木)
2月 1日(木) 8日(木)

時間 午前9時～11時

会場 交流センター「ふれ愛館」

講師 YAGOメディカルフィットネスクラブ 健康運動指導士 滝口義光先生 他

内容 健康運動指導士による小集団指導

- 1 健康運動指導士と一緒に個別計画を作成
- 2 運動を3か月間実施
- 3 最後に自分で立てた目標の達成度を評価
- 4 終了後は個人で運動継続実施(村保健師が支援します)

運動内容 ダンベル・チューブ・ステップボードなどを使った負荷運動／ストレッチ・筋力トレーニング／有酸素運動 等

- 期間中に村の管理栄養士による個別栄養相談も実施します。

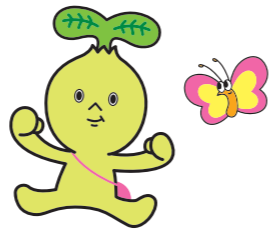
参加費 無料

持ち物 汗拭きタオル 水または麦茶(水分補給用) 動きやすい服装 運動靴(交流センターは外履きのまま入れます)

申し込み 事前申し込みが必要です。申し込みが15人になった時点で締め切ります。10月20日までに電話でお申し込みください。

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

肥満はさまざまな体の不調をもたらし、膝や腰などに痛みが出ることもあります。この教室では肥満を改善し「痛み」を遠ざけるようなプログラムを12回シリーズで実施します。



運動の効果をぜひ実感してください。定員があるので申し込みはお早めに。



健康福祉課 保健師 菅野八重子

肥満対策に効果をあげています! 運動塾に参加してみませんか

「肥満」とは、体脂肪が過剰に蓄積した状態で、「BMI 25以上」と定義されています。「肥満」は、糖尿病、脂質異常症、高血圧症、心血管疾患などの生活習慣病や多くの疾患のもととなります。また、膝や腰に負担がかかり、膝痛・腰痛の原因になります。健康づくりに肥満の予防・対策は重要です。

※ BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

村は令和3年度からBMI 25以上の方を対象に、肥満対策に特化した『いたいのいたいの飛んでけ!運動塾』を開催しています。この運動塾では、12回コースの最初と最後に体成分分析装置(InBody/インボディ)で計測をして、参加者の皆さんに、運動の効果を実感していただいています。講師の滝口先生に、この運動塾で大切にしていることなどをお聞きしました。令和5年度前期の結果と合わせてお伝えします。

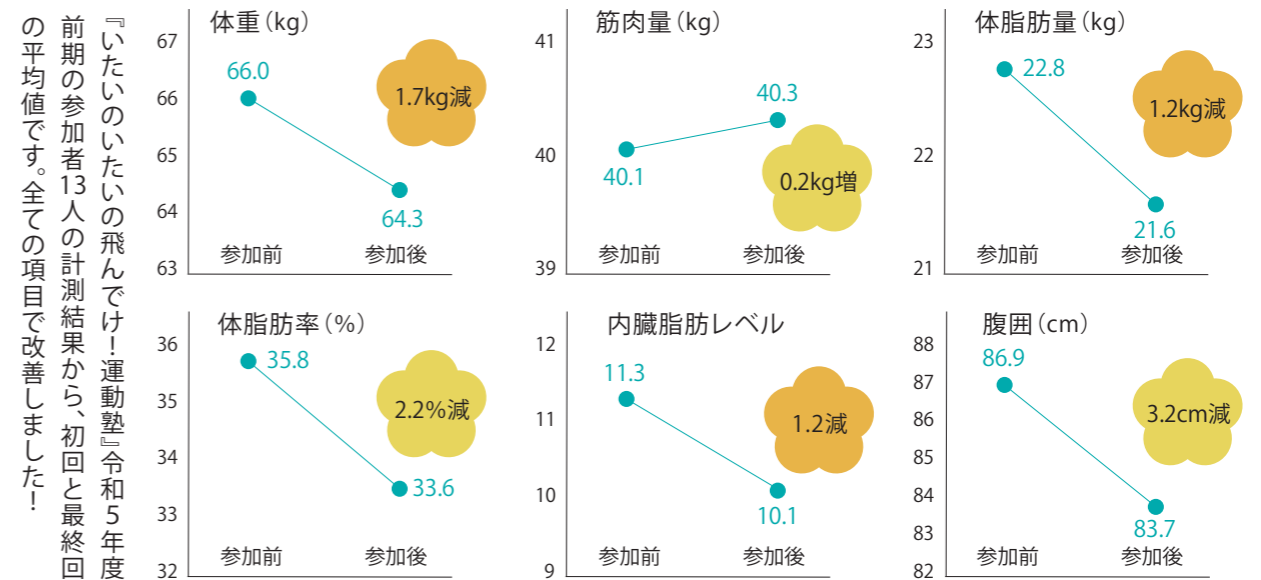
一緒に「運動」を始めましょう

運動をしないと代謝が落ち、糖質や脂肪のもとが溜まって体に悪影響をします。糖質や脂肪のことは運動で燃やしましょう。また、年齢を重ねた方はさらに注意が必要で、年と共に筋肉量が減って脂肪が増え、代謝も落ちていきます。筋力トレーニングで筋肉量を増やし、代謝を上げることが大切です。筋肉を増やすことは、フレイル(加齢による虚弱)の予防にもつながります。糖質や脂肪のものを溜めないよう燃焼させるためにも、筋肉量を増やし代謝を上げるためにも、運動は欠かせないということ



YAGOメディカルフィットネスクラブ 健康運動指導士 滝口義光先生

しかし運動は大切、運動をしなくてはと思っても、何をどれ位すればよいか分かりませんよね。「いたいのいたいの飛んでけ!運動塾」では、「理論と実践」を大切に、一つずつ何に対して有効な運動なのかをお伝えしながら進めることで、運動への理解を深めていただきます。また、12回のシリーズで、内容や負荷を変えながら進めていきますので、1回目と最終回では全く違う内容になります。できる限りお休みをしないで取り組んでいただけたらと思います。継続が大事ですので、運動塾が終了した後も続けられるようアドバイスも行っています。参加条件に当てはまる方は、ぜひチャレンジしてみてください。



『いたいのいたいの飛んでけ!運動塾』令和5年度前期の参加者13人の計測結果から、初回と最終回の平均値です。全ての項目で改善しました!

比曽地区の歴史と芸能を訪ねて 飯館YOITOKO発見!ツアー



羽山神社で地区の皆さんと共に「比曽の三匹獅子」を観賞。子ども獅子の披露もありました。(表紙参照)

9月17日、今年度2回目の『飯館YOITOKO発見!ツアー』を開催しました。今回は比曽地区を訪ねて、社殿を移築した羽山神社に奉納される「比曽の三匹獅子」を見学した他、飯館村文化財保護審議委員の岩崎真幸先生、佐藤俊雄さん(草野)の解説で、「比曽の穀櫃」や「比曽の十三仏」などの史跡を探訪。昼食時には、集会所で地区の皆さんと交流しました。「知らなかった場所に親しみが湧きますね」としみじみ話す人もいて、県内外から参加した11人が飯館の”よいとこ”を満喫していました。

村内関係機関が連携! 消防団・消防隊の実働訓練



分署職員の指導の下、実際に消防機器を操作し訓練を行いました。

7月30日、8月20日、9月3日に、飯館分署南側駐車場において、飯館村消防団・役場消防隊・企業消防隊(菊池製作所)の実働訓練が行われました。

今回の訓練の目的は、消防活動に必要な技術・知識の再確認です。飯館消防分署の職員が指導者となり、揚水訓練、放水訓練、中継送水訓練、規律訓練を行いました。

3回の訓練を通して、消防団と両消防隊から116人が参加。分署からは15人が参加しました。いざという時の備えを、ありがとうございます。

爽快な湖上の景色を満喫 桧原湖でカヌー体験



インストラクターの指示でカヌーの操作を確認しながら湖上へ。息を合わせてパドルで漕いでいきます。

9月24日、北塩原村の桧原湖にて、飯館村教育委員会・いいたてスポーツクラブ・飯館村公民館主催の「カヌー体験」イベントが開催されました。

当日はぐっと秋めいた裏磐梯に青空が広がり、事前に申し込んだ15人の参加者が、アウトドアスポーツクラブ「ボックス」のインストラクターの指導でカヌーを楽しみました。初めてカヌーを体験したご夫婦は「一度カヌーを体験してみたかったので、これはと思って申し込みました。来年度も開催されれば兄夫婦も誘って楽しみたい」と話していました。

市町村対抗軟式野球大会 初戦で只見町と対戦



末永進一監督(深谷)は「攻撃中心の練習の成果が発揮された」と選手を称えました。

9月10日、第17回市町村対抗福島県軟式野球大会1回戦が、ヨーク開成山スタジアム(郡山市)で行われ、飯館村チームは只見町チームと対戦しました。飯館村チームは初回に1点を先制。最終回には勢いを取り戻し2点を追加しましたが、3対10で敗れました。当日は1人も欠けることのできない9人のメンバー編成。スタンドの応援を受けながら、一人ひとりが全力で戦い抜きました。村の代表として最後まで熱くプレーした選手の皆さん、本当におつかれさまでした。

育てて採って味わって…! わくわく農業体験塾



おはぎや煮物、あえ物などを教わりました。

赤石澤備さん(上飯樋)が講師を務める『わくわく農業体験塾』。9月11日には青空の下、白菜の定植と大根の種まきを行いました(右下の写真)。また、夏野菜の収穫も行い、採れたてのみずみずしいスイカを畑で味わいました。

同24日には、細杉今朝代さん(前田)を講師に、交流センター「ふれ愛館」で料理教室を開催。収穫した野菜をおいしく調理し味わいました。



歩いて村を体感しよう! フットパスのコースを造成中



隠れた史跡や植生、景観を楽しみながらの試歩。完成後はコースを公開し、観光資源として活用します。

村は今年度、県が進める「フットパス造成事業」に取り組んでいます。イギリス発祥のフットパスとは「地域のありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径」のこと。村のコースづくりは7月からスタートし、委員を委嘱した村民の皆さんと共に、村らしさが味わえる、歩いて楽しいコースづくりを行っています。9月12日には、村民委員が、日本フットパス協会賛助会員の講師らと共に、試作したコースを歩き、フットパスの魅力を実感しながら、ルートの検討を深めました。



佐須行政区で交流イベント

9月17日、佐須行政区で「地域みがきあげ交流事業」が開催されました。平成27年以来の地域イベントということもあり、50人を超える住民が集まり、久々の再会に会話が弾んでいました。

班対抗グラウンドゴルフでは楽しそうな笑い声が響きわたり、炊き出し訓練を兼ねた交流会では、参加者同士が協力し合い準備や調理を行いました。さらには創作太鼓「虎捕太鼓」も披露され、懐かしの音色に感動が広がりました。

のみの 図図倉庫で蚤の市「ずっとまーけっと」

9月23日、図図倉庫で、蚤の市イベント『ずっとまーけっと』が開かれました。小原健太さん(上飯樋)が営む目黒草花園、図図倉庫を運営する合同会社MARBLiNGの共催です。古道具や衣類などを販売するフリーマーケットの他、村内事業者が、ホットサンドやスープ、カレーの提供、製品の展示販売などで出店。ワークショップも多世代の人気を集めました。会場には村外からも多くの方が訪れて、つながり合うイベントの雰囲気を楽しんでいました。



福島駅前軽トラ市(9月24日)などで販売をスタート

飯館の野菜がピクルスに

株式会社リファー(白石)が自社で栽培する野菜などを使った新商品を発売しました。商品名は「いいたての、」。豊かな自然に育まれた“いいたての、”野菜が瓶詰めのピクルスになりました。ミニトマト、ピーツ、赤タマネギ、カボチャ、インゲンなど多彩なラインアップで、料理の付け合わせやおつまみ、サラダのアクセントにもなりそうです。村内では10月8日にいいたて村の道の駅までい館で開催される『までいなマルシェ』にて販売されます。

佐須地区に満開のカラー

9月中旬、菅野永徳さん(佐須)宅の庭に、赤と黄色のカラーが満開に咲いていました。地区の人達が「きれいだよね」「こんなに咲くのは珍しいよね」と自慢げに話し見惚れるほど。カラーは寒さに弱いですが、4年前に苗を植えてから毎年管理を続け、今年は例年より少し遅いものの、これまで1番立派に咲いたと言います。県道沿いから見える位置に咲き誇るカラーが、佐須地区の中心で人々を見守っているようでした。



「風と土の家」にて“移住”を研究中

合同会社虎捕の郷が運営する交流・宿泊施設「風と土の家」に7月から滞在し管理を手伝う高橋由実さんは、東京大学大学院農学生命科学研究科の2年生。村をフィールドに、移住をした人がそれぞれ決断に至ったプロセスなどを研究。「次に続く人の背中を押せるような研究に」と思いを込めて進めています。また、来春からは出身の白河市で就職の予定。「卒業後も村と関わり、地域の魅力に触れながら、行く末を見届けたいと思っています」。



この夏「風と土の家」は、村で活動する大学生や里帰りした家族、村内イベントの関係者など多くの方が訪れ、にぎわっていたそう。

川崎弘子さん美術展にて連続受賞

川崎弘子さん(深谷)の工芸作品「葛織りのバッグ」が、『第32回福島県シルバー美術展』彫刻・工芸の部で福島市長賞を受賞しました。「自分が使いたいものをつくっているだけなので」と謙遜する川崎さんですが、草木染めと織物の作品づくりを続けていて、昨年も同展で福島民友新聞社長賞を受賞しています。9月7日から11日とうほう・みんなの文化センター(福島市)で開かれた展覧会では多くの方が足を止め、美しい風合いのバッグを観賞していました。



産品の魅力を発信「あぶくまフェア」

9月8日からの3日間、コラッセふくしま(福島市)で開催された『あぶくまフェア』に村の事業者が出店し、魅力あふれる産品を販売しました。この催しは福島県阿武隈地域振興協議会の主催。阿武隈エリアのさまざまな市町村から出店がありました。ラインアップは日替わりで、村からは「までい工房美彩恋人」「図図倉庫」「村カフェ753」「ニコニコ菅野農園」「工房マートル」などが出店。花農家の花のブーケも販売され、村の魅力も伝えていました。



13区営農組合 デントコーンの収穫

9月中旬、13区営農組合(細川強代表/上飯樋)の圃場で、牛の餌となるデントコーンの収穫作業が行われました。背丈以上に大きく育ったデントコーンは、専用の機械でダイナミックに刈り取ります。組合員の皆さんが手際よく連携し、刈り取りはまたたく間に進んでいきます。ギッシリ実った実の部分だけでなく茎や葉も一緒に裁断されたデントコーンは集積所に運ばれ、ラッピングの機械で大量のホールクロップサイレージに加工されました。



いいたて村の道の駅までい館 6周年の感謝を込めてクーポン券を発行

いいたて村の道の駅までい館が、開業6周年を記念し、感謝を込めてクーポン券付きのチラシを全戸配付します。

チラシから切り離して使えるクーポン券は2枚。道の駅までい館とセブンイレブンまでい館店にて1,000円以上の買い物で500円を割引きます。有効期間は令和5年11月1日から令和6年3月31日までとなっています。

このクーポン券付きのチラシは、10月20日発行のお知らせ版に同封して全戸に配付されます。どうぞご活用ください。



相馬郡飯館村深谷字深谷前12-1
道の駅までい館
午前9時30分～午後6時(3～10月)
午前9時30分～午後5時(11～2月)
定休日 毎週水曜日

セブン-イレブン
午前6時～午後8時年中無休

- までい館 秋のイベント
- 10/7 第2回はたらくクルマ大集合!
 - 10/8 第1回までいなマルシェ
 - 10/19 飯館産黒毛和牛精肉販売会
 - 10/22 いいたて秋まつり
 - …クーポン使用は11月から…
 - 11/17・18 新そば祭り
 - 11/23 いいたて雪っ娘祭り
 - 11/25 いいたて冬まつり

※諸般の事情で変更になる場合があります。施設の最新情報をご確認ください。

問 株式会社までいガーデンビレッジいいたて ☎0244-42-1080

村の黒毛和牛が『JA肉用牛共進会』に出場

9月26日、本宮市の県家畜市場で、令和5年度JAグループ福島肉用牛共進会が開かれ、各区の上位入賞牛が出品されました。村からは3人が出品し、細川美和さん(白石)が出品した「ゆりひめ」が優秀賞4席、伏見義雄さん(関沢)の「あかり」が1等賞、佐藤豊洋さん(飯樋町)の「まみ2」が1等賞でした。村が所属する「JAふくしま未来」も団体賞に輝きました。



県家畜市場に各区の入賞牛が集まりました。



手塩にかけた牛が並びます。写真は伏見さん。

9月の村の動きと主なできごと

- 15日・9月議会定例会(議場)
- 2日・いきいきわくわく学びの旅後研修(交流センター「ふれ愛館」)
- 2日・つながるミチシル旅第1弾(小宮地区他)
- 3日・市町村対抗福島県軟式野球大会・同ソフトボール大会合同結団式(交流センター「ふれ愛館」)
- 10日・飯館村敬老会(いいたて希望の里学園体育館)
- 第17回市町村対抗福島県軟式野球大会 対只見町戦(郡山市・ヨーク開成山スタジアム)
- 13日・仙台オクトーバーフェスト 出展(宮城県仙台市・錦町公園)
- 14日・草野行政区農地中間管理事業説明会(草野集会所)
- 15日・銀座駅東北3県ふるさと市 出展(東京都中央区・銀座駅)
- 16日・いきいきわくわく学びの旅後研修(交流センター「ふれ愛館」)
- 17日・第4回飯館YOUTOKO発見!ツアー(比曽地区他)
- ハイウェイエスタとつほく2023 出展(宮城県仙台市・勾当台公園)
- ふるさと回帰フェア 出展(東京国際フォーラム)
- 二枚橋・須置地区農地中間管理事業説明会(二枚橋会館)
- 前田地区農地中間管理事業説明会(前田公民館)
- 19日・上飯樋行政区農地中間管理事業説明会(上飯樋集会所)
- 20日・飯館・川俣小学校合同陸上大会(いいたてスポーツ公園・陸上競技場)
- 農業委員会定例総会(村役場)
- 飯樋町農地中間管理事業説明会(飯樋町集会所)
- 24日・いきいきわくわく学びの旅報告会(交流センター「ふれ愛館」)
- カヌー体験教室(北塩原村)
- 25日・地域おこし協力隊上平期活動報告(村役場)
- 26日・男性の集い(村カフェ753)
- 飯館村の狼信仰を学ぶバスツアー(宮城県・村田町歴史みらい館/山津見神社)
- 定例教育委員会(いいたて希望の里学園)
- 27日・土屋品子復興大臣 来村(村役場)
- 学校運営協議会(村役場)
- 28日・29日・「日本で最も美しい村」連合 加盟継続審査(村内各所)
- 29日・30日・新型コロナワクチン集団接種(いちばん館)
- 30日・10月1日・キャンプ教室(あいの沢キャンプ場)

飯館村未来へつなぐ商工業支援事業

エネルギー及び物価高騰の影響を受ける村内商工業者に支援金を交付します。支援額は従業員数に応じます。

また商工業振興支援枠として、事業者毎の目標設定、防犯連携・防災連携などへの参画を条件として、対象事業者に定額20万円を交付します。

対象は「令和5年9月15日以前より村内に事業所等を有する事業者」「平成23年3月11日時点において村内に事業所を有して、現在も村外で事業を営んでいる事業者」などです。

事業の業務は委託を受けて村商工会が実施します。

問 飯館村商工会 ☎0244-26-7957

問 村づくり推進課商工観光係 ☎0244-42-1620

宝くじ「コミュニティ助成事業」で備品購入



前田行政区では、宝くじの助成事業を活用し、前田公民館内に備品を整備しました。活用した「コミュニティ助成事業」は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されているものです。

同行政区は、行政区のコミュニティ活動の促進を図り、より活発な行政区の運営を行うため、活動の拠点となる前田公民館内に、座椅子(左下の写真)やパソコン、プロジェクター(左上の写真)及びスクリーン、複合機など、合わせて7種類の備品を整備しました。



比曾の穀櫃

歴史の散歩道

冷害に地区で備える

天明の大飢饉（1782～1788年）により財政難に陥った江戸幕府は、寛政2年（1790年）、諸藩に対して「米備蓄令」を出し飢饉に備えさせました。『比曾の穀櫃』もその「寛政の改革」に由来する備蓄穀倉と考えられています。

櫃とは、上から開ける箱のことで、穀櫃は穀物を収納する箱のことです。『比曾の穀櫃』は間口10尺（約3m）奥行き4尺（約1.2m）ほどの小さな粉倉で、昭和時代にトタン屋根に葺き替えられたと伝わります。墨書きで、寛政12年（1800年）の紀年銘が残されています。

この穀櫃には、いざという時に備えて種籾を保存し、困窮した人がここから種籾を借り受けたと考えられています。文久元年（1861年）の「比曾村 困い粉帳」の中には、貯穀・救済・貸付・返納の記録が残っており、この穀櫃が十分に機能していたことがうかがえます。



穀櫃の内部に残る紀年銘。寛政12年（1800年）にこの穀櫃の棟上げを行ったことが記されています。



『比曾の穀櫃』の外観。歴史的価値が認められ令和2年に飯館村指定文化財の指定を受けました。

ふれ愛館だより 交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

読書メッセージコンテスト おすすめの本を教えてください

締切は10月13日

第24回読書メッセージコンテスト作品募集中心!!

本の楽しさや読書のよさを広める読書活動推進として、今年度も読書メッセージコンテストを実施しています。すでに村内外からメッセージが届いています。

好きな場面や読んでいてどんな気持ちになるのかをメッセージにして伝えてください。入賞者には図書券を贈呈、また、参加者全員に図書券などの参加賞をご用意しています。この本いいよね！そんな気持ちがたくさんの人につなげていきましょう。

応募用紙は住民課の窓口、交流センター「ふれ愛館」、村のホームページにありますので、ぜひご応募ください。締切は10月13日です。

いいいたて イノサル通信

“鳥” 空からの被害を防げ!

これまでは鳥獣対策と言っても、ほぼ獣（＝哺乳類）についてでしたが、今回は鳥についてです。飯館村では、カラスとスズメの被害が多いと聞いていますので、主にこの2種類について取り上げます。

■カラス よく見るカラスの中には、ハシブトガラスとハシボソガラスという2種類がいるのを知っていますか。例えば、ハシブトガラスは、生ごみを漁って肉類をよく食べ、ハシボソガラスは、田畑で落ち穂や昆虫をよく食べると言われています。ハシブトガラスとハシボソガラスは、どちらも人里に広く生息していて被害も変わりませんので、対策については区別せずに紹介します。

■スズメ 人にとってとても身近な鳥で、日本全国にいますが、近年は生息環境の悪化により、減少傾向と言われています。



項目	カラス	スズメ
体長	ハシブトガラス:約56cm ハシボソガラス:約50cm	約15cm
生育環境	ハシブトガラス:樹林や住宅 ハシボソガラス:開けた農地など	人家とその周辺の樹林、農地、草地、川原など
被害	雑食性で、飯館村では野菜、トウモロコシが多い	主に種子食で、飯館村ではコメ、ソバ、トウモロコシが多い

対策

鳥類の対策の基本は防鳥網です。そして、何を防ぎたいかで網目のサイズを変える必要があります。なお、あまり糸が細い網は、強度が弱く、鳥が絡まってしまうことがあるため、注意が必要です。

- ▶ カラス:75mm以下
- ▶ ムクドリ、ヒヨドリ:30mm以下
- ▶ スズメ:20mm以下

※カラスについては、スズメ等と違い、体が糸に触れることを嫌がるため、テグスなどを張ることも有効です。上部は1m間隔でテグスを張り、側面は防鳥網などで防ぎます。

防鳥網やテグスの詳しい設置方法については「農研機構の鳥害対策一増補改訂版」を参照してください。農研機構のウェブサイト<https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/>からダウンロードできます。

注意!

間違った対策をしていませんか?

- ▶磁石 渡り鳥には磁気で方角を知ることができるものもいますが、多くの鳥は磁力を感じる事ができません。
- ▶超音波 カラスの高い音への聴力は人より悪く、ほとんどの鳥は人に聞こえない超音波を聞くことができません。
- ▶その他かかし、爆音機、カラスの模型、猛禽類の凧等の防鳥機器 一時的に効果がある場合もありますが、すぐに慣れてしまうことが多いです。使用する場合は、収穫直前のできるだけ短い期間にして、設置位置をこまめに変わる等の工夫が必要です。

イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する鉄谷さんからののお知らせです。

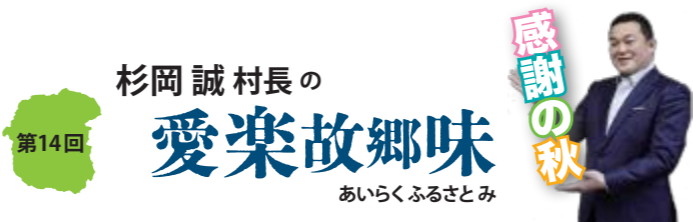


福島県避難地域鳥獣対策支援員

鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯館村の鳥獣対策に携わり、今年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。

皆さまの笑顔の輝きに
想い深まる実りの秋です



夏の暑さもひと段落。飯館村に今年も秋が訪れています。
「昨年、11年ぶりに飯館村でのみ栽培を再開した福島県オリジナル品種「あぶくまもち」の収穫が今年も無事に始まりました。全国的な酷暑の中でも、村の昼夜の寒暖差を味方につけてスクスク育ってくれた「あぶくまもち」に、そして今年も栽培管理収穫に取り組んでくださった生産組合の皆さまに感謝の念が堪えない実りの秋となりました。これから様々な商品になって多くの方の手に取っていただけるような取り組みを今年も企画していきますので、ご期待ください。
今年長く続いた新型コロナウイルス感染症の蔓延以来、3年ぶりとなる「敬老会」を開催することが出来ました。私にとっては、直接皆さまにお祝いを申し上げる初めての敬老会でした。
今年、敬老会にご案内させていただいた75歳以上の方は1003名様でしたが、毎日の散歩を欠かさない元気な101歳の方に「一番前にお座りいただいた他、敬老会皆勤賞の方々から敬老会5年生の方々まで、笑顔でお話をお聞きすることができました。家族のため、地域のため、「ふるさと」のため、不断のご努力と想いを重ねてこられた皆さまに、あらためて心より敬意と感謝を申し上げます。
そして、「金婚式」を迎えられたご夫婦をお祝いさせていただきました。
50年という長い年月を共に過ごし、支え合ってこられたご夫婦の息の合ったお話に、深く感じ入るとともに顔がほころぶばかりでした。これからも末永く、健やかに、そして仲睦まじくあられますようお念じ申し上げます。
10月は、1日(日)、7日(土)、14日(土)と、村交流センター、福島県青少年会館、オンライン南相馬を会場に「住民懇談会」を開催いたします。「懇談」とは「形式ばらず、打ち解けて親しく話し合うこと」とあります。ぜひ多くの方に足をお運びいただき、自由なご意見をいただければ幸いです。
また、道の駅生産者会による「第1回までいなマルシェ」や「はたらくクルマ大集合!」「いいたて秋まつり」など村の道の駅などを会場にしたイベントのほか、東京駅北口での「日本で最も美しい村まつり in TOKYO TORCH」など村外のイベントもあります。村ホームページのイベントカレンダーもご確認いただければ、と思います。
朝夕、すっかり秋らしい気温となりました。季節の変わり目、お身体を大事に、飯館村の秋をご堪能ください。

皆さん、こんにちは!松尾洋輝です。

最近の僕は、凶凶倉庫さんと一緒に、新しいパウンドケーキブランドの立ち上げに関わらせていただいております!



飯館村の特産品を材料に使っており、初めて食べさせていただいた時、とても美味しく驚いたのを覚えています!

ブランド名はCocitto(コチット)と言って、Instagramで情報発信をしていきますので、チェックしてみてください!

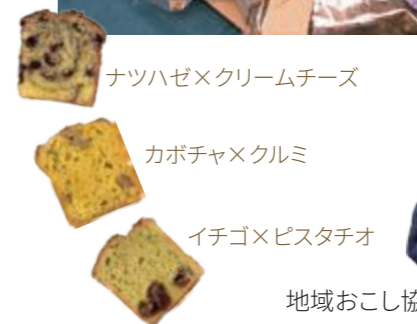
今後はECサイトでの販売を予定しておりますので、サイトがオープンした際には、また改めてお知らせいたしますね!



Instagram @cocitto_gift

とっても美味しいケーキですので、皆さんにも味わっていただけたら嬉しいです!

それでは、また!



今月のライター

地域おこし協力隊 松尾洋輝さん

ひとのうごき

おくやみ

氏名	年齢	行政区
高橋 巖さん	81	飯樋町
庄司 シサイさん	85	長泥
星 ナオさん	91	上飯樋
大渡 敏行さん	86	二枚橋・須萱
佐藤 ウメヨさん	94	関根・松塚
齊藤 次男さん	84	深谷
開沼 幸一さん	84	前田

ご冥福をお祈り申し上げます

(8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。



ひとのうごき 令和5年8月31日現在

人口	今月(前月比)	8月1日~31日までの人口動態
●男	2,381人(-4)	転入 8人
●女	2,353人(-7)	転出 12人
計	4,734人(-11)	出生 0人
世帯数	1,821戸(+5)	死亡 7人
		(住民基本台帳人口)

村民広報委員
ふじおさんの
いいたて **宝さがし**

第15回 多彩な趣味!!

まだ暑さの残る9月中頃。庭に優しく揺れるコスモスの花を見ながら、今回は八巻誠さん・静枝さん夫妻(草野)宅を訪ねてみました。

八巻さんは旧JAそまの常務理事を長年にわたり務め、全国各地のやっちゃば(市場)などを研修・指導のために歩き回ったそうです。飯館村の全村避難の時には、農協、農業にいそむる人のために大変苦勞されたとも聞いています。

趣味も多く、中でもソフトボールでは、村内のママさんチームでコーチをしたり、平成7年には全国大会の球審も務めたりしたそうです。「ストライク!アウト!」私にも野球の審判の経験があり、元気な八巻さんの声は今にも聞こえそうな気がします。

他にも部屋いっぱいの絵画や骨董品、アクセサリーや珍しい石など何千点にも及ぶ貴重な品々を見せていただきました。静枝さんも水墨画を描くことが好きで、ステキな絵を何点か見せていただきました。

今は2人で飯館に住み、ドライブをすることが一番の楽しみだと語ってくれました。お互いがお互いの趣味や生き方を尊重し合っていると言葉静かに話してくれました。今回も貴重な**宝話**を聞いたと想って帰って来ました。



飯館村HP

飯舘村から海外とつながろう

峯岸ちひろさん(深谷)



民家の趣を残した事務所の前で。



ニコニコ菅野農園のナツハゼ。加工品の輸出の準備を進めています。

早稲田大学在学中に芸能活動を始め、休学して台湾に活躍の場を広げた峯岸さん。日台の架け橋となり活動する中で「台湾さらには世界に日本の文化を発信したい」と起業を考えるようになりました。

そして復学のために帰国した折に台湾の若者と共に福島を訪れる機会を得て、峯岸さんの心が動きます。「福島の飲食物の魅力を発信し応援する会社を立ち上げよう」。現地からの発信にこだわり、豊かな自然と暮らしのたたずまいに心ひかれた飯舘村に移住することを決めました。令和4年秋に移住し株式会社

サクラ・シスターズを設立。台湾の言葉で日本の女性を意味する「桜花姉妹」が社名の由来です。事業は県の海外販路拡大支援事業に採択されました。台湾の展示会でナツハゼなど村の農産物をPR。この9月には台湾から

飲食業者らを招き村の農家や飲食店をめぐりました。「いいものだ」と分かれば売れる」。峯岸さんは販路を開拓しながら、輸出に向けた準備を着々と進めています。この新たな挑戦の先にも「体験型アクティビティで滞在を楽しめるインバウンド(海外の方の訪日旅行) 事業も展開したい」と構想を描いているそう。

畜産業・山田豊さんを訪問



牧草地にて。現地を見学した皆さんの疑問に答えながら、村で生産されている黒毛和牛の魅力を伝えました。

台湾から飲食業の皆さんを招いて

田舎レストラン LaKasse にて



杉岡村長を招いて会食。牛肉やジャガイモなど村産の食材を味わいました。

新バス停「飯舘村役場」停留所

福島交通株式会社が運行している路線バス「福島～医大經由南相馬」の運行ルートに「飯舘村役場」停留所が設置されました。運行の詳細や時刻表は村のホームページからも確認できます。



飯舘村役場停留所 ※1日6往復

南相馬方面	7:23	11:03	13:43	16:13	17:18	19:38
福島方面	7:40	10:55	13:10	14:40	16:40	18:35

問 住民課住民係 ☎0244-42-1618

〈編集後記〉

ポリュミーな10月号になりました。ぜひ特集をご覧ください。ただき、パワフルなシルバード世代から、元気をもらっていただけたらと思います。「高齢化」も見方を変えれば、「高齢で長生きする方が多い証です。私もあと4倍は生きられるように！健康第一で過ごしたい」と思います。(菅野)

生涯現役を貴く方にお会いすると年齢が全てではないのだなと実感します。一方若手の皆さんの新たなつながりも広がって、シルバード世代の皆さんが同じ年齢の頃に村づくりを熱く語り合っていたというエピソードとオーバーラップします。飯舘村にはそんな力を生む不思議な土壌があるのかも。(星)

10/1から試験運用をスタート!

LINE
飯舘村公式
アカウント

村からのお知らせなどがすぐ分かる

お友達登録はこちらから↑

ネイティブ・スピーカーズはお休みします。